

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	鹿児島県指定 第4670104225号
法人名	株式会社 グロリアコーポレイション
事業所名	グループホーム めぐみの丘冷水
訪問調査日	平成 21 年 11 月 12 日
評価確定日	平成 21 年 12 月 12 日
評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構

○項目番号について  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年11月14日

## 【評価実施概要】

事業所番号	鹿児島県指定 第4670104225号		
法人名	株式会社 グロリアコーポレイション		
事業所名	グループホーム めぐみの丘 冷水		
所在地	鹿児島県 鹿児島市 冷水町 10番19号 (電話) 099(222)7634		
評価機関名	NPO法人 自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構		
所在地	鹿児島県 鹿児島市 星ヶ峯4丁目 2番6号		
訪問調査日	平成21年11月12日	評価確定日	平成21年12月12日

【情報提供票より】 (21年10月23日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 3 月 16 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤4人 非常勤7人	常勤換算8人

## (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	1 階建ての ~ 1 階部分		

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	31,500 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	203円	昼食 250円
	夕食	300円	おやつ 80円
	または1日当たり		833 円

## (4) 利用者の概要 (10月 23日 現在)

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名
要介護1	5名	要介護2	1名		
要介護3	1名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	1名		
年齢	平均 81.3歳	最低	67歳	最高	90歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	池ノ上クリニック	大迫歯科
---------	----------	------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

鹿児島市の山手側に位置し、近くにスーパー・病院・公園等があり、利用者は、豊かな地域環境の中で、日常的に散歩や買い物・ドライブなど、地域とのかかわりがもてる。また、ホームの庭には菜園があり、手作りの野菜が食卓に上ることもあり、それぞれの力量を発揮する場もある。町内会に加入していて、地域の住民との交流も図っており、居心地良い共用空間や居宅が配慮されて、利用者は、穏やかに自分のペースで、その人らしい生活をしている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	災害時の地域の協力体制について、運営推進会議で協議して、協力を依頼する取り組みをしている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員の入れ替わりがあって、自己評価を全職員で取り組むことが難しかった。管理者と計画作成担当で自己評価をして、ケア会議で報告を行なった。今後、見直しや改善に取り組んでいく予定である。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	定期的に運営推進会議を開催している。ホームの状況や報告を行い、地域との情報交換ができています。地域にホームの広場を提供するという意見などがだされている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族からの意見や要望があった場合は、話し合いを行ない運営に反映させるようにしている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入して、地域行事に参加したり、ボランティアの受け入れも行なっている。回覧板も廻ってきて、地域の中の一員として地域の人々との交流を図っている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人としての理念はあるが、地域の中でその人らしく暮らせる地域密着型サービスとしての事業所独自の理念はできていない。	○	地域密着型サービスとしての、業所独自の理念を職員と話し合いながら作りあげることが望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の入れ替わりが多く、全職員で共有できているとはいえない。	○	今後は、理念を共有して申し送り時、会議の中で職員に定着させ、理念の実践に向けて取り組みをされることを望まれる。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入していて、回覧板を廻している。おはら祭りに参加したり、中学校の体験学習の受け入れや高齢者のボランティアの受け入れも行なっている。ホームのもちつき大会に地域に参加を呼びかけ、地域住民との交流に努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の意義は理解できているが、職員の入れ替わりが多くあり、自己評価がされていない。管理者と計画作成担当者で自己評価をして、ケア会議の折に職員に報告を行なった。	○	全職員で自己評価を行なって、評価を活かした話し合いを行ない、改善への取り組みがなされることが望まれる。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は地域住民・家族・地域包括支援センターの職員が参加して行なっている。ホームの状況を報告したり地域からの情報を頂いたりして、話し合いながら、サービスの質向上に努めている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターや市の高齢者福祉課や生活保護課等に出かけて行き、報告や相談などをして、サービスの質の向上に努めている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ケアプラン作成や見直し時には、家族に連絡しているが、暮らしぶり等について、定期的に家族への報告がされていない。金銭管理もしているが、定期的に家族への報告は行っていない。	○	ホーム便りを作成しているので、同時に利用者の状況や金銭管理を、定期的に家族に報告をすることが望まれる。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの意見や苦情があったときは、職員で話し合いを行ない、運営に反映させる体制は、できている。苦情箱も設置している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	多くの離職者があったが、馴染みの関係を築くため、離職がないように配慮している。	○	離職対策を構じ、馴染みの関係づくりに注力されることを期待したい。
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会には、交代で参加している。研修内容は、全職員で共有するようにしている。定例会議時には、勉強会も行なっている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームとの合同勉強会や同業者とのネットワークづくりを行い、相互訪問なども実施し、サービスの質向上に取り組んでいる。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所希望者には、自宅や病院に行き、懇談している。またホームに来てもらい馴染みの関係を作ったり、環境に馴染んでもらうようにしている。利用者や家族と相談しながら、サービスの開始をしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、ホームが生活の場であるという思いで利用者に接している。苦労話を聞いたり、生活面で教えてもらうことも多くある。また、励まされたりして、お互いに支えあう関係を築いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	散歩やドライブ・布団干し・コーヒーを飲む等、本人の意向や希望を大切にしながらのケアに取り組んでいる。難しい場合は、本人本位に検討している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族の希望を聞き、必ずケア会議で職員の意見を出し合って、介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて見直しを行なっている。状態が著しく変化した場合は、対応できるケアについて、会議を経て見直しを行なっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院受診・墓参り・理美容院等の送り迎えを行ったり、多機能性を活かした柔軟な支援をしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望されるかかりつけ医に受診している。協力医療機関の病院・歯科は往診が可能で、適切な医療が受けられるように支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や看取りの指針があり、家族からの同意書もある。入所時から、本人・家族、かかりつけ医と相談しながら、職員と共に話し合いを行っている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、利用者への尊敬の念を持っており、言葉使いにも気をつけている。個人記録の取り扱いには、十分注意し配慮をしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大事にして、自由に本人のペースで生活をしている。職員は、本人の希望にそって細やかな支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	庭の菜園の野菜を使って調理し、茶碗洗いや片づけを職員と利用者が一緒に行いながら、食事が楽しみになるよう支援を行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴剤を使いながら、入浴が楽しみになるように工夫し支援を行っている。入浴を拒む人もいるが、一緒にふれあいを重ねながら、一番風呂の声をかけたりして、入浴を促している。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	読書・テレビ鑑賞・洗濯物干しやたたみ・茶碗洗い等、利用者の楽しみや役割ごとを活かしながら支援を行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物・ドライブなどで日常的に戸外へ出かけている。また、月1回は、レンタカーを借りて、そうめん流しやコスモス見学・菊祭り・外食などに出かけている。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないケアに取り組み、職員の細やかなる気遣いで自由な暮らしを支援するため、昼間は、鍵をかけていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練を行い、近隣の住民の協力を呼びかけている。運営推進会議でも話し合いを行っている。災害に対する備蓄も準備されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量をチェックして記録している。個々の状態に応じた粥やきざみ食などの支援をしている。大まかな栄養摂取は保持されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	庭に菜園があり、玄関はスロープになっていて、花が飾ってある。テレビの前にソファがあり、リビングの中心に大きなテーブルが置いてある。利用者が自由にゆったりと過ごせる工夫をしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、仏壇・テレビ・ラジオカセット・花鉢・椅子・クッション・筆筒・布団等、馴染みのものや好みのものを置き、本人や家族と相談しながら居心地よく安心して過ごせる工夫をしている。		

※  は、重点項目。